

Song Review 14 #ファイト！

『#ファイト』(作詞・作曲：中島みゆき、1983 年) を取り上げる。「ファイト！」を作曲するに至った背景には、ラジオ番組で受け取った一通の手紙が深く関わっている。深夜ラジオ番組「中島みゆきのオールナイトニッポン」に、17 歳の少女から手紙が届いた。その手紙には、社会の理不尽さや差別、孤独、そしてそれに立ち向かおうとする切実な思いが綴られていたそう。

その手紙に応える形で「ファイト！」を作詞・作曲した。歌詞には、社会の不条理に傷つきながらも、それでも前に進もうとする人々への強いエールが込められている。この曲が生まれた背景には、個人の声に耳を傾ける姿勢と、それを芸術に昇華する中島みゆきの深い感受性がある。

また、女優の満島ひかりが音楽番組「2020FNS 歌謡祭 夏」でこの曲をカバーした生歌唱が視聴者の賞賛を浴びている (YouTube で視聴可)。

「私中卒やからね 仕事をもらわれへんのやと書いた
女の子の手紙の文字は とがりながら震えている
ガキのくせにと頬を打たれ 少年たちの眼が年をとる
悔しさを握りしめ過ぎた 拳の中 爪が突き刺さる

私本当は目撃したんです 昨日電車の駅 階段で
転がり落ちた子供と 突き飛ばした女の薄笑い
私驚いてしまって 助けもせず叫びもしなかった
ただ怖くて逃げました 私の敵は私です

ファイト！闘う君の唄を
闘わない奴らが笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
震えながら昇ってゆけ

暗い水の流れに打たれながら 魚たち昇ってゆく
光っているのは傷ついて 剥がれかけた鱗が揺れるから
いっそ水の流れに身を任せ 流れ落ちてしまえば楽なのにな
痩せこけてそんなに痩せこけて 魚たち昇ってゆく

勝つか負けるかそれはわからない それでもとにかく闘いの
出場通知を抱きしめて あいつは海になりました

ファイト！闘う君の歌を
闘わない奴らが笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
震えながら昇ってゆけ

薄情もんが田舎の町に あとあしで砂ばかけるって言われてさ
出てゆくなならおまえの身内も 住めんようにしちやるって言われてさ
うっかり燃やしたことにして やっぱり燃やせんかったこの切符
あんたに送るけん持っについてよ 滲んだ文字東京行き

ファイト！闘う君の歌を
闘わない奴らが笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
震えながら昇ってゆけ

あたし男だったらよかったわ 力づくで男の思うままに
ならずにすんだかもしれないだけ あたし男に生まれればよかったわ

ああ小魚たちの群れキラキラと 海の中の国境を越えてゆく
諦めという名の鎖を 身をよじってほどいてゆく

ファイト！闘う君の歌を
闘わない奴らが笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
震えながら昇ってゆけ

ファイト！闘う君の歌を
闘わない奴らが笑うだろう
ファイト！冷たい水の中を
震えながら昇ってゆけ

ファイト！ 」

中島みゆきの歌の特徴

1. 歌詞の深さと普遍性

- ・人生の苦悩や希望を描く：「ファイト！」、「時代」、「糸」などは、時代や世代

を超えて共感されるテーマを扱っている。

- ・社会への鋭い視点：「ファイト！」では学歴差別やいじめなど、日本社会の暗部に切り込む一方で、闘う人へのエールを送っている。

2. 歌声と表現力の多様性

- ・曲ごとに声色や歌い方を変えることで、物語性を強調する。柔らかく優しい音色から、唸るような力強い声まで、幅広い表現が可能である。

3. 文学的なアプローチ

- ・彼女は「音楽好きというよりは言葉好き」と語っており、詩人・谷川俊太郎の影響も受けているようだ。

- ・彼女の歌詞は、文学作品のように読み解くことができ、倫理的・哲学的な問いを含んでいる。言葉の裏にある「人間の真実」を探る姿勢である。

4. 時代を超える共感力

- ・東日本大震災やコロナ禍など、社会が困難に直面したときに彼女の歌が求められるのは、歌詞が人々の心に寄り添い、希望を与えるからである。

- ・若い世代にも支持され、カバーされ続けることで、彼女の作品は“現代の古典”として生き続けていくだろう

評価：★★★★★